

プレゼンテーション能力育成事業
～全国プレゼンテーションコンクールの開催～
－No.14 羽生市－

【事業の目的】

小中学生によるプレゼンテーションコンクールの全国大会を羽生市で開催することにより、全国の子供たちと切磋琢磨しながら多様な表現方法を活用して、全国水準のコミュニケーション能力の育成を図ります。

【事業の内容】

参加校の子供たちが共通のテーマについてプレゼンテーションを行います。コンクール形式で審査委員が審査を行い、上位校を表彰します。プレゼンテーションソフトやスライド等を活用したり、歌や寸劇等も交えたりして発表します。

【事業年度】

平成 29 年度

【予算額(千円)】

600 千円

【財源】

一般財源（市）

【事業実施に至った背景・経緯】

羽生市は「生きる力をはぐくむ学校教育の推進」として、様々な取組を行っています。その中でも、21世紀型スキルの一つであるコミュニケーション能力の向上を図るため、平成27年度より「羽生市プレゼンテーションコンクール」を開催しています。開催後、教育関係者等からの御意見やアドバイスもあり、本コンクールを市内で終わらせるのではなく、規模を広げることとしました。子供たちのコミュニケーション能力のより一層の向上を目指し、本事業を実施します。

【事業のPRポイント】

全国規模でのプレゼンテーションコンクールの開催は、県内初の取組です。プレゼンテーションをコンクール形式にすることで、変化の激しい社会で生き抜いていくために必要なコミュニケーション能力を養う効果的な方法であると考えています。

【事業実績・成果・今後の展開】

現在、開催に向け準備を進めており、県内のほか、プレゼンテーションに力を入れる自治体に参加を呼びかけ、平成30年1月に開催予定です。

〔 連絡先 〕

教育委員会学校教育部学校教育課

048（561）1121（内線306）